

卑劣な詐欺犯罪の根絶を目指して

本日8日、区立社会教育センター（愛称：セシオン杉並・杉並区梅里1-22-32）では、「特殊詐欺根絶イベント in 杉並」が開催されました。このイベントは、区と東京都、警視庁が連携して、特殊詐欺の実態や手口を紹介し、被害の根絶を訴えたもので、約350人が参加しました。

本年上半期の都内の振り込め詐欺等特殊詐欺被害件数は1,513件（前年同期比+648件）、被害額は約34億円（前年同期比+約9億円）となっており、大幅に増加しています。杉並区でも、被害件数61件（+17件）、被害額約1億2千万円（-約5千7百万円）と被害額こそ減少しているものの、被害件数は昨年を大幅に上回っています。そうした現状を踏まえ、本イベントでは、プロの舞台俳優による実演劇やゲストとしてお招きした声優の神谷明さんを交えたクイズ等を通じて、詐欺被害に巻き込まれることのないよう、被害への理解を深めました。

午後1時30分、式典が開始となり、冒頭に東京都青少年・治安対策本部の臼井治安対策担当部長から、都内で発生している被害手口の傾向と対策について話があった後、吉田副区長から、「区内でも被害は深刻な状況です。広報すぎなみ8月1日号に詐欺被害の特集記事を掲載しました。是非ご覧いただき、被害に遭わないようにしましょう。」と注意を呼びかけました。

実演劇では、詐欺犯人が高齢者を言葉巧みに騙すやりとりをユーモアを交えながら再現。オレオレ詐欺、還付金詐欺、架空請求詐欺と次々に騙される女性役に、会場からは笑いがあふれるとともに、「これでは、自分は大丈夫と nghĩ ても、騙されてしまうかもしれない。」と嘆声が聞こえました。



警視庁音楽隊の演奏の後に行われたクイズでは、仮に昨年の都内の被害額（約60億円）を1万円札で積み上げた場合には、区役所よりも高くなることがわかり、神谷さんも参加者もたいへん驚いていました。

そして、イベントの最後には、参加者全員で「特殊詐欺に騙されないぞ。オー。」と声を合わせ、被害防止を誓いあいました。区では、引き続き、被害根絶に向けて、留守番電話の活用等効果的な被害防止策をお知らせしていくことにしています。

【問い合わせ先】

危機管理室地域安全担当 03-3312-2111 内線 1582